

# 入院診療計画書

## 「心小児心臓カテーテル検査」を受けられる患者様へ

(低学年・高学年用)

診療科： 小児循環器内科  
病棟：

様

入院説明日：

現在の病名または病態

項目	外来	入院日・検査前日	検査当日	検査後1日目	検査後2日目～退院
病日		/	/	/	/
目標	1.検査の目的が理解できる	1.風邪症状がない 2.検査前後の流れがわかる 3.不安を表出できる 4.検査に向けての準備ができる	1.風邪症状がない 2.検査がスムーズに受けられる 3.検査による合併症が早期に発見、対処される 4.安静が守れる。安静による苦痛が最小限に抑えられる	1.発熱がない 2.穿刺部に異常がない	1.発熱がない 2.穿刺部に異常がない
検査	胸部レントゲン 心エコー 心電図	採血、尿検査 心エコー、心電図 胸部レントゲン	・心臓カテーテル検査は 時（ 例目）からの予定です	午前10時に体重測定をします	午前10時に体重測定をします
処置・薬	アスピリンは検査一週間前 チクロピジン検査当日から 内服を中止します	中止薬以外は飲んで下さい	中止薬以外は飲んで下さい。変更がある場合はお知らせします 検査出棟前に点滴をはじめます  点滴が中止・終了となれば点滴の針を抜きます	医師が午前中に押さえてあるガーゼを 除去し出血がなければ、絆創膏に 貼り替えます 抗生剤の内服が開始となります 3日間の飲みきりです	看護師が検査部位の消毒、絆創膏を 貼り変えます
観察項目		身長・体重測定を行いません 体温・血圧・脈拍・SPO2値の測定 足背動脈触知の有無、程度を確認します 起床時、検査前に体温・血圧・脈拍・呼吸 回数・SPO2値の測定を行います	検査後、呼吸状態に応じて酸素マスクを使用する場合があります 検査後2時間は30分毎、以後は適宜、体温・血圧・脈拍・呼吸回数・ SPO2値の測定を行います 検査時、穿刺部位の観察を行います	起床時・10時・14時・19時頃に 体温・血圧・脈拍・SPO2値の測定を 行いません 検査時、穿刺部位の観察を行います	起床時に体温・血圧・脈拍・SPO2値 の測定を行いません 検査時穿刺部位の観察を行います
行動・清潔	特に制限はありません	制限はありません 入浴・シャワー、もしくは身体を拭いて いただきます	翌朝まで検査した方の足を曲げないよう注意し、ベッドで安静に して下さい どうしても安静が守れない時は、看護師に相談してください オムツ着用でない場合は、ベッド上で尿器使用にての排尿となります。 必要時、看護師が介助しますのでコールして下さい	ガーゼ交換後、歩くことができます ただし走り回るような激しい運動は避けて 下さい 温タオルで身体をお拭きします	日常生活ができますが、走り回るような 激しい運動は避けて下さい シャワーはかさぶたが出来てから行えます
食事			（ ）までに朝食を済ませ、それ以後は何も食べたり 飲んだりしないで下さい 朝の内服がある場合は、この時に内服して下さい 検査後の飲水は、しっかりと目覚めたらできますが、飲む前には 看護師に声をかけて下さい。 飲水ができたなら、食事もお食べてもいいです	特に制限はありません	
説明	持参薬の確認をします 感染予防について ・カテーテル検査の前後1ヶ月の予防接種は 避けてください ・微熱がある場合、入院前日の午後に入退院 へ連絡してください。その場合は、入院 当日入退院へ寄らずに、外来で診察を 受けて下さい	病棟オリエンテーション 入院診療計画書の説明をします 持参薬の確認をします 必要物品の説明をします ・テープ式オムツ2枚（低学年）orT字帯 ・バスタオル2枚 病衣をお渡しします 医師より検査の説明があります	8時までに病衣に替えて下さい 検査30分前までに、排尿を済ませておいて下さい 検査中、ご家族はテイルームか病室でお待ち下さい 検査後、ストレッチャーでお迎えに行きます 検査後、ガーゼが便や尿で汚れた場合は看護師にお知らせ下さい		退院後の日常生活の注意点について 説明します 退院療養計画書をお渡しします 次回外来受診日の説明をします

注1：病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2：入院期間については現時点で予想される期間です。ご了承ください。

注3：当病棟は免疫力の低い患者様が多数入院されております。生花の持込みは禁止しております。面会に来られた方は、病棟入り口でマスクの着用・手指消毒をしてからお願いします。  
感染予防に御理解とご協力をお願いします。

説明医師：

☺

受け持ち看護師：

説明看護師：

上記の説明を受け、理解をしましたので同意します

平成 年 月 日

患者または家族氏名：